

# 第1章 コミュニティ 第3節 人権尊重社会

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			環境影響	
			会計	投入コスト		活動実績(H29)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	有益なもの	有害なもの	
社会教育課	実施計画ランク	事業の種類別	H28予算現額	H28決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	成果指標の目標値はほぼ達成できており、人権意識の向上に対して一定の成果を上げていると考えている。特に、家庭教育学級人権教育合同講座では、初めて人権教育講座に参加する方も多く、人権課題への気づきの場として成果を上げている。相手思いやる差別のない人権尊重社会を構築するためには、日頃からの人権教育の推進が必要であり、本事業の重要性は高い。	H29年度に改善した点	無	無		
	重要	自治事務 法定受託事務 法定受託+ 附加	933千円	840千円	家庭教育学級人権教育合同講座受講者数 人権教育ブロック別研修会受講者数 人権教育指導者養成講座受講者数	研修会参加者の理解度(%)	人権意識の向上に資するため、参加者アンケートから理解度を指標とした。								
	人権教育推進事業	根拠法令 人権教育及び人権啓発の推進に関する法律、社会教育法、所沢市人権教育推進協議会交付金交付要綱 事業の目的及び具体的な内容	H29予算現額 2,136千円	H29決算額(見込み) 1,690千円	H28正職員人件費 0.43人 H28その他職員 非常勤 特別職 0.30人 実績	H28年度目標 95.0 H28実績 95.0	H29目標値が未達成の理由・分析								
	期間	平成15年度～	H29正職員人件費 3,687千円 0.50人 H29その他職員 非常勤 特別職 0.00人	H29正職員人件費 4,243千円 0.01人	H29正職員人件費 521人 165人 76人	H29年度目標 98.0 H29実績 89.3	ブロック別研修会では、学術的で難解なテーマも扱ったため、当該講座では理解度が若干低くなった傾向が見られた。参加者の理解度をより高めるためには、体験者の話を交えるなど、人権課題を身近に感じられるような講座開催の工夫が必要である。								
			H29正職員人件費 0.50人 H29その他職員 非常勤 特別職 0.00人	H29正職員人件費 4,243千円 0.01人		H30年度目標 90.0									
			H29正職員人件費 0.50人 H29その他職員 非常勤 特別職 0.00人	H29正職員人件費 4,243千円 0.01人											
企画総務課	実施計画ランク	事業の種類別	H28予算現額	H28決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	人権課題が多様化しているなかで、継続的に啓発を推進していることにより、成果指標が前年度実績よりわずかながら上回ることができた。	H29年度に改善した点	無	無		
	重要	自治事務 法定受託事務 法定受託+ 附加	1,133千円	715千円	講演会等参加者数 啓発ビデオ貸出件数 啓発ビデオ視聴件数	多様化する人権問題への取り組みの充実(市民意識調査の設問「人権の尊重に関する施策への満足度」に対し、「満足」「どちらかといえば満足」と回答した人の割合)	人権推進室では、人権全般の啓発を総合的に推進しており、施策への満足度を指標としている。								
	人権啓発推進事業	根拠法令 今後の同和行政の基本方針 事業の目的及び具体的な内容	H29予算現額 1,133千円	H29決算額(見込み) 783千円	H28正職員人件費 0.85人 H28その他職員 非常勤 特別職 0.00人 実績	H28年度目標 38% H28実績 37%	H29目標値が未達成の理由・分析								
	期間	H12年度～	H29正職員人件費 7,289千円 0.60人 H29その他職員 非常勤 特別職 0.00人	H29正職員人件費 5,091千円 0.00人	778人 2件 60人	H29年度目標 40% H29実績 38%	近年、LGBT(性的少数者)やヘイトスピーチなどの新たな人権問題が注目されており、こうした課題が一般にも認識されつつある状況から、わずかながら目標達成に至らなかったものと考えられる。								
			H29正職員人件費 0.60人 H29その他職員 非常勤 特別職 0.00人	H29正職員人件費 5,091千円 0.00人		H30年度目標 42%									
			H29正職員人件費 0.60人 H29その他職員 非常勤 特別職 0.00人	H29正職員人件費 5,091千円 0.00人											
企画総務課	実施計画ランク	事業の種類別	H28予算現額	H28決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	公共施設の整備や改修の際には、ユニバーサルデザインへの配慮がなされるなど、庁内での周知は図られている。目標に対する実績の割合は8割を超えているが、目標達成に向けて市民へのより一層の啓発について検討が必要である。	H29年度に改善した点	無	無		
	重要	自治事務 法定受託事務 法定受託+ 附加	0千円	0千円	情報提供回数	ユニバーサルデザインの推進(市民意識調査における居住環境の満足度についての設問で、満足及びまあまあ満足と回答した人の割合)	ユニバーサルデザインの推進により誰もが暮らしやすいまちづくりの一助となることから、居住環境の満足度を指標としている。								
	ユニバーサルデザイン推進事業	根拠法令 ユニバーサルデザイン推進基本方針 事業の目的及び具体的な内容	H29予算現額 0千円	H29決算額(見込み) 0千円	H28正職員人件費 0.23人 H28その他職員 非常勤 特別職 0.00人 実績	H28年度目標 80% H28実績 66%	H29目標値が未達成の理由・分析								
	期間	H19年度～	H29正職員人件費 1,972千円 0.05人 H29その他職員 非常勤 特別職 0.00人	H29正職員人件費 424千円 0.00人	0回 0回	H29年度目標 80% H29実績 65%	市民に向けての周知が不足している状態から、目標達成に至らないものと考えられる。								
			H29正職員人件費 0.05人 H29その他職員 非常勤 特別職 0.00人	H29正職員人件費 424千円 0.00人		H30年度目標 80%									
			H29正職員人件費 0.05人 H29その他職員 非常勤 特別職 0.00人	H29正職員人件費 424千円 0.00人											